

別表第1 (第5条関係)

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 23 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	公共スポーツ施設等活性化事業費			
担当課係名	スポーツ振興課	課	スポーツ振興係	作成者 草薨 正勝
総合計画での位置づけ	施策の大綱	第5章 明日を担う人材を育む教育文化のまち		総合計画のページ 97
	基本計画	4 スポーツ活動の推進とスポーツ施設の整備		
	主要施策	スポーツ活動の振興、充実		
予算費目	一般	会計	10 款 教育費	6 項 保健体育費 1 目 保健体育総務費
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 23 年度		新規/継続の区分	新規
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等	スポーツ振興法			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民のスポーツ振興のため。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	新たに出来た市のスポーツ施設を有効に活用するため各種スポーツ教室・大会を開催する。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	・玉川河川公園を会場にサッカー教室(キッズ・小学生)・グラウンドゴルフ教室・大会を開催する。

【事務事業の推移】

		項 目	単 位	23年度実績		
効果	活動指標	スポーツ教室・大会開催回数	目標	回	22	
			実績	回	22	
			達成度	%	100.0%	
	成果指標	スポーツ教室・大会参加者数	目標	人	1,500	
			実績	人	1,432	
			達成度	%	95.5%	
投下コスト	項 目		総事業費	23年度決算額(千円)		
	事業費(人件費を除く)(A)			1,033		
	人 件 費 (B)		—	424		
	職 員 数		—	0.05		
	職 員 平 均 人 件 費		—	8,479		
	(A) + (B) 投下コスト		—	1,457		
	財源内訳	国 庫 支 出 金			0	
		県 支 出 金			0	
		地 方 債			0	
		そ の 他			1,000	
		一 般 財 源			457	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	66,227		
	市民1人当たりのコスト(円)		—	49		

【事務事業の今までの成果】

<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度の新規事業である。 ・サッカー教室（キッズ・小学生）を実施。グラウンドゴルフ教室・大会を実施。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	県内実施市町村（2市）のみである。（秋田県分が2市町村しかない事業）
事業に対する市民の意見 （事業に対する期待、要望、苦情等）	・市民からの期待は大きい。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続（実施）	市民対象のスポーツ振興・体力・健康増進のソフト事業であり有効である。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	市民のスポーツ振興・体力・健康増進を図るためには必要な事業であり、今後も常に検証し、見直しをしながら継続して実施すべき事業と考えます。

